

# 希少動物保護の取組と連携した森林整備 ～長野県森林づくり指針の決定に関連して～

- 絶滅危惧種イヌワシの生息状況
  - ・ 全国：約175つがい約500個体 県内：30～40つがい約80～100個体 （2004年調査）
- 絶滅危惧の要因
  - ・ 森林や里山の利用衰退に伴う、狩場の消失・餌動物の生息環境の減少
  - ・ 営巣地付近における開発行為やカメラマンなどの不用意な接近による繁殖失敗

R5.2.6 県民対話集会（高山村）にて長野イヌワシ研究会 からイヌワシの生息地周辺の積極的な伐採整備による生息環境の改善について提案を受け、次の施策に取り組むこととした。

## 主伐・再造林の推進による生息環境の改善

- ・ 高山村と連携し、主伐・再造林の推進に併せてイヌワシの狩場再生を支援



- イヌワシの狩場再生を意識した主伐・再造林を実施（村）
- 主伐・再造林推進に向けた技術・財政的支援（県林務部）
- イヌワシ研究会と連携し、施業時には生息等の情報を提供するなど関係者への技術的助言（県環境部）

## 生息情報等に基づく技術的支援

生息地・繁殖時期等の情報を共有